

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所
 ■本社
 〒640-8412 和歌山市狐島609-9
 TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631
 ■東京営業所
 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-7-2
 東京堂錦町ビルディング9階
 TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441
 ●発行年月日 2022年7月1日

こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。
 経費削減が課題となっている今日、わいんがお手伝いします！
 今月はわいんが出展する展示会についての特集です。

■JP2022・印刷DX展

5月19日(木)、20日(金)の2日間、インテックス大阪で、「JP2022・印刷DX展」へ出展してきました。これは西日本最大の印刷関連機材総合展示会で、印刷会社や印刷関連メーカー等58社が出展し、2日間で7,738人が会場を訪れました。ちなみに「DX」とは「デジタルトランスフォーメーション」のことです。

■今回の展示内容

従来の「伝票王」、「オンデマンド伝票印刷」、「フロムワン」(1冊からの名入れ伝票)に加えて、「カスタマイズプレート伝票」と「ソトプリ」(色校正のできるユボ印刷専用サイト)も展示し、多くのお問合せをいただいております。

■DX化の時代のなかで

今回の展示内容は「DX」と正反対に映ったかもしれませんが、メールのやり取りで済むこともあれば、そうではないこともあるように、大切なのはバランスです。アナログとデジタルの必要十分なサービスをお届けできるよう、これからも成長してまいります。

■次回出展は7月6日～8日

次は東京ビッグサイトで開催される「JapanマーケティングWeek夏 販促EXPO」へ出展予定です。今回と同様に、各種伝票印刷サービスと「ソトプリ」を中心に展開します。インテックス大阪には行けなかったよ、という方も、ぜひ足を運んでいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



風流印字 (ふうりゅういんじ) : 『風流韻事』の造語。興味深い記事を載せた印刷物の意。

わいわいとピツクス

毎月わいんからのお知らせをお伝えします!!



印刷営業のブログ書いてます!

わいん営業部東京営業所の柳澤が伝票王のサイト内でブログを書いています。不定期ですが、様々な情報をお伝えしていきますので、是非ご覧ください。

<https://denpyouou.com/blog.html>



SNSはじめました

ゆったり更新中



弊社の取組を動画にしています



印刷豆知識もつなやきます



写真と動画でプチ工場見学



無料見積り！LINEチャットで



LINE 公式アカウント

友だち募集中

@006ncbaq

印刷業界の難解「あるある」をご紹介！

あるある印刷では、難解な事件(トラブル)が発生している。今日もまた、天然系工場長のもとに新たな相談が持ち込まれるのであった…。

あるある印刷の事件簿

事件ファイル29 「耐候インキ」



営業マン：「工場長、大変です！先日納品した屋外用ポスターの色が薄くなっているとクレームがきています！」
工場長：「すぐにそのポスターを持ってこい！」
 営業マンが、急いで問題のポスターを持ってきた。
工場長：「ん？このポスターは屋外掲示用なのに、通常のインキで印刷しているのか？」
営業マン：「え？屋外用ポスターは何か特別なインキを使うんですか？」
工場長：「一般的に屋外に掲示すると、日光に当たって色あせしやすいため、紫外線に強い耐候インキを使うんだ！」
営業マン：「なるほど、屋外掲示の印刷物には工夫が必要なんですね…」
工場長：「今日は徹夜で作業すれば、なんとか間に合うから、みんなで頑張ろう！」
営業マン：「とほほ・・・(涙)」

こんなトラブル

わいんの対策はこれ！

印刷物の中には、数か月間屋外に貼られたままのもの少なくありません。その間、直射日光や風雨にさらされ、印刷物にとって苛酷な環境になるため、印刷に使うインキや紙の種類を考える必要があります。

耐候インキとは、紫外線への耐久度を向上させる成分などを配合し、長期間掲示しても色の変化が起きづらいインキのことです。わいんでは、オフセット印刷で屋外ポスターを印刷する場合、耐水性の高いユポ紙と耐候インキ、もしくは超耐候インキで印刷しています。ユポ紙には剥がしてすぐに貼り付けることができるタックシール仕様もありますので、屋外に掲示する場合や風雨による破れが心配な方はぜひお声がけください。

耐候インキについて

通常のインキは太陽光(紫外線)によって退色が進行してしまいます。耐候インキは通常のインキよりも退色の進行が少ないインキです。



太陽光による退色イメージ



走れ、営業マン！！



バンクシーって誰？

出口 昌也(営業部部長:56歳)です！

先日グランフロント大阪まで「バンクシーって誰？展」を観に行ってきました。神出鬼没で正体不明、コンテンポラリーアートの異端児。オークション落札直後にシュレッダー付き額縁によって作品が切り刻まれ、話題になりましたね。展示作品は写真撮影OKと型破り。バンクシーの生き方が全ての作品に表れていて堪能しました。芸術はあまりよくわかりませんが、コンテンポラリーやポップアートって楽しいですね。チャンスがあれば草間彌生美術館へも行ってみたいです。



妻は元ミュージカル女優

小島 直紀(総務部次長:37歳)です！

妻は19歳の時に劇団四季の研究生オーディションに合格し、3年間ミュージカル女優として活躍していました。出演した作品は、ライオンキング・エビータです。劇団四季を退団後は、海が舞台の某テーマパークでショーに出演したり、オーディションを受けて舞台に出たりしていたようです。カラオケでミュージカルの曲を聞いた時には、声量の大きさに驚き、感動しました。今はダンス講師として働きながら、二児の母として子育て奮闘中、さらに第三子妊娠中です。



【わいんニュースレター】アンケート応募はこちら

ニュースレターのご感想などがありましたら下記のQRコードからご応募ください。

ご応募いただいた方の中から抽選でクオカード(500円分)をプレゼントいたします。



COCOAR

【AR動画 企画】

今話題のARを体感できます

「あるある印刷の事件簿」の横にあるイメージイラストをARアプリ【COCOAR】で読み取るとアニメーションが再生されます。

AR動画をご覧いただくには、専用アプリが必要となります。無料ARアプリ【COCOAR】を右のQRコードでダウンロードしてからお楽しみください。



編集後記

今度の父の誕生日にワインをプレゼントしようかなあと思いつつ、私はワインのことを全然知りません。「わいん」のことはある程度わかっているのですが(笑)

ヒントになるかもと、「神の雫」を読みはじめました。ワインがわからないなりに面白く、生産者、生産年、生産地、ブドウの品種、どういった料理に合うか、それぞれ特徴があり、ワインの奥深さに圧倒されると同時に飲んでみたくなります。私も父とワインで乾杯しながら今年を終えられるように、下半期はより一層、力を入れていきたいと思ひます。

(編集長: 椿原健太)